

名経大とつくる 地域のげんき!

地域の未来を応援!

[特集] 地域密着!
人間生活科学部

●こまき産業フェスタ2026

地域と一緒に盛りあがろう!

●大口町さくらまつり2026

地域とともに学ぼう!

- 犬山観光学生大使
- 消防団知ってますか?
- JA愛知北との共同商品開発
- 羽黒城跡竹林整備



2026(令和8)年2月26日
大口町さくらまつり2026準備



2026(令和8)年3月13日
新入生オリエンテーション消防団説明



2026(令和8)年5月23日・24日
こまき産業フェスタ2026



名古屋経済大学地域連携センター NEWS

VOL.31[2026.JULY]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

名古屋経済大学は、地域のみなさまとともに
持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



特集 地域密着！人間生活科学部

こまき産業フェスタ2026

地域の方々と学生が交流を深める貴重な機会として、今年も名古屋経済大学人間生活科学部がブースを出展しました。

初日は教育保育学科がもぐら叩きやボール入れなど、子どもたちが体を動かして楽しめる遊びを担当。2日目は管理栄養学科が、くだものや野菜をモチーフにした輪投げや釣りゲームを用意しました。2日間で延べ600組がブースを訪れ、親子連れを中心に大いに賑わいました。

教育保育学科 presents
大人気！もぐらたたきゲーム



小牧商工会議所 × 名経大

2026(令和8)年5月23日(土)・24日(日)
パークアリーナこまき

小牧商工会議所 × 名経大

運営スタッフとしてボランティア参加した学生



大勢の子どもがブースに来ることを想定し、当日スムーズな運営ができるよう、サークルメンバーで話し合いを重ねました。出し物の流れを共有するなど事前に役割分担をして挑みました。1年の時からこのイベントに参加していますが、今年は部長として、メンバーをまとめたり、準備を進めたりしなければいけなかったのが正直大変でした。しかし、子どもたちの楽しそうな笑顔を見て、今まで準備してきた苦労が報われた気持ちになり、最終的には参加して良かったと感じました。

教育保育学科3年(保育サークルこんべいどう所属) ●野原 優那

これまでの取り組み

地域連携センターニュース30号



虫歯予防活動



2025こうなん産業フェスタ



地域と一緒に盛りあがろう！

大口町さくらまつり

～さくらまつり盛り上げちゃおう!!大作戦～

大口町さくらまつりを盛り上げるため、新しいイベントを考える会議「さくらまつり盛り上げちゃおう!!大作戦」に、経営学部と法学部の当時3年生2名が参加。ダッシュマンをテーマにしたフォススポットや、地元の幼稚園・保育園児が描いた行燈を並べるフォススポットを提案しました。2月26日(木)には、誠信高等学校生メンバーと一緒に、子どもたちの絵が灯りとして浮かび上がる、温かみのある行燈を完成させました。まつりは3月28日(土)から4月の週末4日間で開催、約3万人が来場しました。満開の桜を背景にフォススポットで写真を撮る姿も見られ、学生たちの企画がまつりに華を添えました。

大口町民に愛され続ける「ダッシュマン」移動フォススポットのポーズを練習中…。



大口町役場 × 大口町商工会青年部 × 誠信高等学校 × 名経大



留学生5人は18時から運営ボランティアとして参加

地域とともに学ぼう！

犬山観光学生大使

～大使任命式～ 2026(令和8)年3月13日(金)
名古屋経済大学

今年の任命式は、新入生オリエンテーションと同日に本学キャンパスで開催。キャンパスに集う学生に、学生大使の存在を知ってもらう良い機会となりました。



約1300年の歴史がある文化イベントのPR活動に参加できてとても嬉しかったです。初めて鵜飼を真近で見て、その素晴らしさを実感できたとともにもっとたくさんの人に体験してほしいと感じました。犬山市(愛知県)と各務原市(岐阜県)を結ぶ木曽川の魅力あるイベントが地域の活性化に直結することに改めて気づき、今後学生大使としてPR活動をする時は、この視点を大切にしていこうと思いました。

教育保育学科4年 ●古川 凜果

犬山市観光協会 × 名経大

つらぽ

2026(令和8)年6月1日(月)
木曽川畔

～木曽川鵜飼開き～

鵜を使い川魚を捕る伝統漁法「鵜飼」。毎年6月1日からはじまる「木曽川鵜飼」は、昼も遊覧船に乗り鵜飼を楽しめるのが特徴です。今年も学生大使が「鵜飼開き」の式典司会や鵜飼船の乗船案内など運営のサポートをさせていただきました。



消防団知ってますか？

～1年生から学べる地域を守る力～

愛知県では、消防団活動をより多くの世代に知ってもらうため、県内の大学でPR活動を進めています。2026年には、名古屋経済大学で犬山市消防本部と小牧市消防本部の協力を得て、さまざまな取り組みが行われました。3月の新入生オリエンテーションでは、地震体験車「なまず号」を犬山キャンパスに設置し、震度7の揺れを体験できる貴重な機会を。さらに5月には、1年生の合同ゼミに地域連携活動紹介の講師として、消防団員として活動する魅力や、就職活動で活用できる「学生消防団活動認証制度」、料金割引サービスが受けられる「あいち消防団応援の店」制度などをお話いただきました。

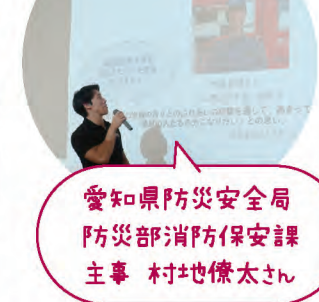
2026(令和8)年3月13日(金)
名古屋経済大学



普通自動車免許で運転できる小型消防ポンプ車を犬山市消防本部が披露。



2026(令和8)年5月26日(火)・27(水)・29(金)
名古屋経済大学



愛知県防災安全局 防災部消防保安課 主事 村中 僚太さん



これまでの取り組み
犬山市消防本部 令和7年度 消防活動報告書
犬山市消防出初式
地域連携センターニュース25号

経済学部3年 安藤 綾さんは犬山市消防団員として活躍中。活動の魅力を語りました。



名古屋経済大学の合同ゼミでの貴重な説明の機会、心より感謝申し上げます。3月に続き、多くの学生さんとお会いでき大変嬉しく、有意義な時間となりました。地域の安全を支える消防団活動には、皆さんの若い力が不可欠です。社会貢献や地域との繋がりを深める素晴らしい経験が待っています。共に地域を守る日を心待ちにしております。

犬山市消防本部消防総務課 統括主査 ●服部 浩世さん

地域とともに学ぼう！

JA 愛知北との共同商品開発

2024(令和6)年10月9日(水)～
2026(令和8)年3月5日(木)
名古屋経済大学 ほか

～夢とろろと越津ねぎの Pastaソース～



2026年3月5日(木)より、「夢とろろと越津ねぎの Pastaソース」がJA愛知北の各店舗で販売されています。

JA愛知北とは2022年に地域貢献に関する連携協定を締結、2024年からは本学管理栄養学科の3年生(太田和徳ゼミ)が地元野菜を使った

商品開発に取り組んできました。今回選ばれた地元野菜は、深い風味と強い粘りが特徴の自然薯「夢とろろ」と、とろけるような甘みを持つ「越津ねぎ」が主役。学生たちは自然薯の圃場を訪れて「夢とろろ」の特色を学び、何度も試作を重ねました。製造業者との意見交換も行い、ついに和風仕立てのソースが完成、商品パッケージのアイデアも採用されました。

共同開発の主旨や地元野菜について説明を受けました。



JA愛知北では地元農産物のPRと農家所得の向上のため、管内の農産物を原料とした商品の開発・販売を行い、地産地消に取り組んでおります。

今回の商品開発では感性豊かな大学生のアイデアをもとに、付加価値のある商品の開発に取り組めました。今後もより一層地元の恵みを伝え、農家の暮らしを支えるため、取り組んでまいりたいと思います。

JA愛知北営農生活部次長 ● 山口 利貴さん

JA 愛知北 × 名経大

つらボ



2025年10月1日(水) 第1回試作会
「夢とろろ」「越津ねぎ」に合う調味料を検討しました。



2025年11月26日(水) JA愛知北犬山東部じねんじょ部会が栽培した「夢とろろ」を見学。

羽黒城跡竹林整備

2026(令和8)年5月30日(土)
犬山市羽黒城跡

名鉄小牧線・羽黒駅から徒歩10分圏内にある羽黒城跡の竹林は、羽黒地区コミュニティ推進協議会のメンバーを中心に、丁寧に整備が続けられています。

今回、その活動に経済学部1年まちづくりゼミの学生が参加しました。タケノコの除去・草刈り・竹の伐採・伐採した竹のチップ化など、実際に体を動かす中で、地域資源を守り活かしていくことの大切さを肌で感じる貴重な機会となりました。

今後は、より多くの学生が参加できるようボランティア枠を確保していただき、継続的な体験活動へと発展していく予定です。

羽黒地区コミュニティ推進協議会

つらボ

× 名経大

休憩時には地域の方と飲み物を摂りながら、会話をしました。



原犬山市長も市民と一緒に竹竹林整備活動に取り組んでいます。



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL0568-68-3282

FAX 0568- 67-0724 MAIL chiiki-c@nue.ac.jp

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL0568-67-0511(代表)